

な時でもお父さんの食事の世話してんだらう。  
大変だなァ」

A「遅刻してすみません」(注 初めての言葉)

② B江

- 昼休みの教室で

担「国語ノートよく書いてるね。よくやってるなァ、感心してるよ」

B「参考書や辞書でしらべてます」

担「(はっきりした声で)期待してるよ」

- 国語漢字テスト90点。テストを返しながら、

担「すごいね。採点しててうれしかったよ」

B「(照れながら)この前先生に声かけられてやる気になったんです」

- ちょっと顔があかく、さえない表情

担「どうした、B江さん。熱あるんじゃないか」

(額に触れてみる。保健室まで同行し検温。38.

5℃)「大事なからだから、家に帰ってあったかくして寝ていなさい。かぜ薬のみなさいよ」

B「はい、すみません。ありがとうございます」

③ C美

- 国語の授業中、私語、次第に声高に

担「C美さん、76ページの〇〇について説明しなさい」

C「わかりません」(隣の女の子に「ねェ」と同調を求める)

担「それじゃァ、もう一度説明するから、よく聞いてなさい」、再説明後、再質問。

C「(仕方なさそうに)……です」

担「一回説明をきいただけで、よく分かったね。感心したよ。えらい」

C「……」

- その日の放課後、廊下で

担「髪の毛さっぱりしてるね。気持ちいいなァ」

C「先生、授業中話きいてなくてすみません」

(5) 教科担任による指導の例

① 学級担任と3名の生徒との約束

- 2学期中間テスト、模擬テストの前に必ず教科担任の所へ行って質問してこること

- テスト終了後、もう一度行って誤答の指導を受けてこること

(各教科担任の了承済み)

② 国語科(学級担任)

A——目標たてたの。そうか。では計画は。ちょっと甘いな。(じっと目をみて)信頼してるよ。

B——この前、ワークみたらよくやってたねェ。時間かかったんだらう。すごい根気だなァ。

C——どうだ。もっと勉強時間増やせないか。「私は国語が大好きだ」と10回言ってみよう。

③ 社会科(男子, 38才)

A——落ち着いてよくやってるね。成功を祈るよ。

B——ノートが丁寧だね。きっとよい点数とれるよ。笑顔でまた会おう。

C——予習してきたの。えらいね。ここんとこ繰り返し繰り返し読んでみよう。よく分かるよ。

④ 数学科(女子, 48才, A子の元学級担任)

A——お父さん、元気。体に気をつけてね。色の濃い野菜必ず食べるのよ。おや、この問題できたの。(頭をなでて)このページ明日までやって持ってらっしゃい。放課後待ってるわよ。

B——あら、この問題。先生と一緒にやりましょ。ほらできたでしょ。自分は何をやってもできないなんて思っていないでしょうね。

C——ノートきれいな。(C美の肩に手を置いて)この問題やってみなさい。(ヒントを与えながら)よくできたね。じゃあおまけにこれも。この単元もう大丈夫ね。努力したね。

⑤ 理科(男子, 28才)

A——電流の流れる方向を表す記号の違いは……こら、A子、授業に遅れて来ては駄目だぞ。

B——確認問題の磁界の向きが分かるなんて大したもんだ。よし、この応用問題やってみろ。熱心によくやったなァ。

C——明日までこのプリントやってこい。(水溶液の濃度の問題)、(翌日)よくやってきた。この積み上げが大切なんだ。すごいぞ、C美。

⑥ 英語科(男子, 31才)

A——せっかく来たんだ。不規則変化の動詞のテストをやろう。(テスト後)間違っただのをここ